

真夏の夜のヤモリ調査 i n 足利



7月31日（土）午後7時40分。足利市役所の駐車場に「**足利ヤモリ調査隊**（仮称）」のメンバー7名が集結した。「ヤモリって両生類だっけ？」そんな声が聞こえてきそうであるが、ヤモリは爬虫類、そしてイモリが両生類である。ヤモリは漢字では家を守る「**家守**」（あるいは「守宮」）、両生類のイモリは井戸を守る「**井守**」として、古くから親しまれていた。

ヤモリは南方系の動物で、気温が低いと生息できないことから、栃木県での分布の北限はおおよそ宇都宮市あたりと考えられている。2008年の夏は、佐野市のヤモリ調査を行い、2009年は栃木市、小山市などでも調査を行い、かなりの数のヤモリを確認している。県南では唯一、足利市が**ヤモリ調査の空白地帯**となっていたのである。

7時45分、市役所のすぐ隣にある建物に付いた蛍光灯のすぐ下で、動く物体を発見。最初のヤモリはあっけなく見つかった。ヤモリは昼間は姿を隠しているが、夜になると、街灯などの周辺に出現し、光に集まる昆虫などを待ちかまえていて食べるのだ。つまり、ヤモリを見つけるには、夏の生温かい夜、**街灯の周囲**を探せばよいのである。この日は午後9時まで調査し、9カ所で11個体のヤモリを確認した。

下の写真のように街灯の周りや街灯の金具の裏側を覗くと、ヤモリのまん丸な目玉からの視線を感じることがある。ヤモリの顔って、何だか**笑っている**ように見えませんか？

